

技委発第10-2号通達
平成22年 3月 1日

関係各位

技術委員長 阿南 喜裕
(公印省略)

ルールに関する各種通達

今回の通達に関する内容をご理解の上、周知徹底をお願い致します。
なお、適用日時の記載がないものは、即日適用としてご理解下さい。

1. テクニカルコントローラーの配置

2010年4月1日以降に開催の全日本選手権（パワー・ベンチとも、ジュニア・マスターズを含む）においては、テクニカルコントローラーを配置する（ブロック大会を含む各地方大会は主催者任意とする）。

テクニカルコントローラーは、プラットフォーム入り口に常駐すること。

全日本選手権においては、原則として国内2級以上の審判員が資格を有するが、技術委員会が認めた者の場合は3級審判員でも差し支えない。ブロック大会を含む各地方大会は3級審判員でも構わない。

上記でも人員配置が難しい場合は、陪審員のうち1名がこれを兼任することも可能とする。

役割は次のとおりとする。

- ・ プラットフォームに上がる選手のタイミングを計り誘導する。
- ・ プラットフォーム周囲（コーチングエリア等）への関係者以外の立入りを制限する。
- ・ プラットフォーム又は必要に応じて、スタンバイエリアに控える各選手のコスチュームをチェックする。
- ・ 新記録樹立時のコスチュームチェックを実施する。
- ・ コスチュームチェックに立会い、各選手のスタンプの位置を確認しておく。

2. 競技開始前のルールクリニックの実施

各競技会の審判員ミーティングの際、全レフリーを対象としたルールクリニックを実施すること。
その際に使用する資料は別途発表する。

競技開始直前15分前や開場時・前日等において、ミーティングの時間を設け、最新のルール解釈及び注意点を参加全レフリーで共有し実務に当たるよう願います。

なお、全日本選手権では各セッション開始15分前に集合し、技術委員会または指名された者が担当しこれを開催することとする。

3. 公認品の使用期限について

マラソン社製品に関しては、国内のみの特例措置として長年使用を認めてきたが、2010年12月31日付をもって公認大会では全面的に使用不可とする。該当商品のゴールドメダルスーツ(スクワット・デッドリフト用)、ダブルゴールドラップ(ニーラップ、リストラップともに)等を使用されている選手はご注意ください。

クレイン社製品に関しては、IPFからの正式発表があるまでは『技術委員会便り 2010年第1号』記載のとおり対応する。

4. 来年からのルール変更時期

例年、IPFルール変更が1月1日施行であったものに対し、周知期間を設けるためJPAでは4月1日施行としてきたが、2011(平成23)年からはJPAでもIPFと同様に1月1日施行と変更する。

5. ベンチプレス台における仕様変更

各種競技会におけるベンチプレス種目では、選手への安全を考慮し、全日本大会、ブロック大会、地方大会に限らず、また、その規模を問わずセーフティラックの設置を義務付ける。

《問い合わせ先》

TEL : 090-4140-8270 (21時以降)

FAX : 086-275-0370

E-mail : anany1975@yahoo.co.jp

JPA技術委員会 阿南 喜裕